

## 会 議 録

会 議 名	佐野市立出流原小学校・佐野市立赤見小学校統合準備委員会 令和7年度 第2回会議
日 時	令和7年9月19日（金） 午後6時30分～午後6時55分
場 所	赤見地区公民館 2階 第1会議室
出 席 者	<p>【参加者】（15名） 別紙「委員名簿のとおり」 （欠席者 2名）</p> <p>【事務局】（計6名） 佐野市教育委員会 学校適正配置課 課長、係長、係員4名</p> <p>【傍聴者】（6名）</p>
配 付 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第、委員名簿</li> <li>・ 資料1 赤見小・出流原小在籍児童居住地位置図</li> <li>・ 資料2 通学に係る協議の経過</li> <li>・ 資料3 今後のスケジュール</li> </ul>
委員会内容	<p>委員会の内容については以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会 司会（学校適正配置課長）</li> <li>2 委員長あいさつ</li> <li>3 議 事</li> </ol> <p>（1）通学手段について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から3km円の外側に居住している児童（現時点で学区内の対象者は1名、統合年度は2名）に対し公共交通を活用した通学手段を提供することを資料1及び資料2を基に説明。</li> <li>・質疑は以下のとおり。</li> </ul> <p>（委員1）通学距離文科省の基準が4kmというのは具体的にどのようなことか。</p> <p>（事務局）バスの補助金を出すために4km以上という条件が文科省の基準である。見方を変えると4km以内は徒歩という意味合いで考えている。ただ、距離はあくまでも基準であり、今までに統合した事例として一概に何kmとは言いきれない部分もあるが、ひとつの目安になる。今回、居住地や他の学校区とのバランスを踏ま</p>

	<p>え、概ね3 km円以内は徒歩、3 km円を超えた児童に関しては、通学に係る手当てをするという提案をしている。なお、中学生の場合、基準が6 km以上であることをご承知いただきたい。</p> <p>(委員1) 中学生の自転車通学は何km以上といった条件はあるのか。</p> <p>(事務局) 基本的に学校ごとのルールで定められている。全員自転車通学でよいという中学校もあれば、その町内は徒歩でその町内から先は自転車通学も可能としている中学校もある。なお、あそ野学園及び葛生義務の場合、山手で通学距離が明らかに遠い中学生はバスに乗車して通学している。</p> <p>(委員1) 通学の安全性など安心して通学できるルートについて、赤見小学校の児童は長い間、この地区については、こういったルートを通れば安全に通学できるといった目安があるかもしれないが、出流原小学校の視点で考えてみると、自身も通勤等で車を利用しているが、出流原方面から南下する際、車道と歩道の区分けが全くなく、電柱の存在感も大きい。そのような観点から単純に距離云々ではなく、安全安心を考慮し、通学手段について検討しなくてはいけないと考えているが事務局の見解を伺いたい。</p> <p>(事務局) 何kmであるからというのを一律に決めているわけではない。委員の意見のとおり、交通事情や道路事情も当然ある。通学部会です承を得たと説明したが、それで終わりというわけではなく、通学部会もしくはその下の作業部会的な場で地元の育成会や学校の先生、教育委員会の通学路担当部署と連携し、通学路・通学班を検討し、安全安心な通学ができるよう取り組んでいく。</p> <p>・ 通学手段について、事務局報告のとおり承認を得る。</p> <p>(2) 統合までのスケジュールについて</p> <p>・ 事務局から統合準備委員会、各部会、学校設置条例等、今後進めていく手続きについて資料3を基に説明。</p> <p>(委員長) 学校設置条例改正の部分で、11月教育委員会定例会、12月議会を経て統合が正式に決まるという認識でよろしいか。</p> <p>(事務局) 補足として、まず、学校設置条例という条例は、市内に〇〇小学校があるとの定めが記載されている。令和9年4月に出流原小学校の校名が学校設置条例からなくなり、赤見小学校と統合することが今回の条例改正である。議案は、教育委員会定例会を経て議会に提出する。議会で可決された後、法的な意味で学校の統廃合が決まったということが事務局として伝えることができる。その手続きをこれから行っていきたいと考えている。</p> <p>・ 今後のスケジュールについて、事務局の案のとおり決定した。</p> <p>7 その他</p>
--	---

(委員2) 資料3 統合準備委員会の委員は出席していないため、不明であるが、通学部会の右の備考欄に(1)の対象者の利用の確認、乗降場所や運行経路と記載があるが、何かしらの車両が出るという認識でよろしいか。

(事務局) そのとおり。3km円よりも外側に居住している児童の保護者と個別にやり取りするということである。具体的に、自宅からどこまで乗っていくか、この場所なら乗れるかといった話し合いをこれから行っていく。その集落に居住している子どもはバスに乗って通学するという場合は、説明会を開催するが、今回は対象が1世帯、2世帯であるため、その世帯と個別に話し合いをするという記載となっている。

(委員3) 3km以上の対象者は何人いるのか。

(事務局) 現時点で通学輸送の対象者は1名、統合年度は2名である。対象世帯に兄弟がいるという話を聞いたので統合年度より先は2、3名になると想定している。

・事務局から連絡

(事務局) 先ほどご協議いただいたスケジュールが、全てではない。委員長のあいさつのとおり、すでに児童同士の交流の面で準備を行っている。先生同士の調整で学校にもご尽力いただく。保護者の皆様にも閉校に係る部分でご尽力いただく。今後、PTA部会、学校支援部会を開催する予定であり、地域の方々からご意見をいただきながら進めていく部分もある。地域の皆様のご協力がなければ統合準備が進まない部分もある。事務局もできる限り迅速に進めていくが、引き続きご協力をお願いしたい。最後に、次回の会議の開催予定は、2月から3月であるため、ご出席をお願いしたい。

8 閉 会